

## 「中国版ゆとり教育「双减」について」

洲澤 輝

## ＜負担軽減?少子化対策?宿題・学習塾禁止令「双减」＞

中国共産党中央弁公庁と国務院は 2021 年 7 月 24 日、「宿題負担の軽減」と「学習塾の削減」を実施する政策「双减」を発表しました。目的は、小中学生の宿題を軽減し、学習塾など学外教育の負担を軽減するといったもので、主な内容は以下のとおりです。

## 【宿題負担の軽減】

- ①宿題の時間的制限を設定
  - ・小学 1～2 年生：宿題禁止
  - ・小学生 3～6 年生：平均 60 分以内
  - ・中学生：平均 90 分以内
- ②保護者のチェック作業や指導などを禁止
- ③就寝時間の厳守。
- ④家事やスポーツ、読書などの奨励等

## 【学外教育負担の軽減】

- ①全地域の学生向け学習塾の新規開設の禁止
  - ②既存の学生向け学習塾は非営利団体として運営
  - ③学生向け学習塾の株式上場による資金調達の禁止、投資会社からの投資も禁止
  - ④資格を持たない学習塾、講師には罰則
  - ⑤週末や祝日、夏、冬休みに塾などの教育サービスの提供の禁止
  - ⑥就学前の児童に対する学習類（外国語も含む）の塾も禁止等
- ※美術や運動、音楽などの教室は規制の対象外

「双减」の内容を見ると、子供の負担軽減と同時に、親たちの負担も軽くさせる政策であるように見えます。親たちへの負担を軽くすることで、子育てに余裕が生まれ、結果として少子化対策へと繋げる目的ではないかと思えます。

中国の少子化の原因として、「男性が家庭を持つには結婚時に家と車を準備しなければならないこと」、「都市部の不動産価格の暴騰」、「仕事と子育ての両立の難しさ」、「子供への高額な教育費用」といった状況があります。

また、学校の宿題が多すぎることは、以前から保護者の間で問題になっていました。上海を例に挙げると、子供たちは土日も含め毎晩 11 時ぐらいまで宿題をし、親はその宿題をチェック。宿題の出来が悪いと先生は親に注意します。また勉強のしすぎで子供が近視になったり、

運動不足で肥満になったりするなどの問題も起きています。親としては、1 人の子育てですらすでに疲労困憊、これ以上の負担を望まず、2 人目の出産を諦めることもあります。

## ＜学習塾の規制＞

「双减」による「学習塾の規制」は、教育業界に大きな衝撃をもたらしました。塾の経営は「非営利のみ可」となった以上、商売が成り立たず、多くの学習塾が倒産し始めています。実際、私の知り合いが上海で経営する語学教室も、今回の規制で閉鎖しました。

中国は人口が多いため、子供が将来、よりよい仕事についてゆとりある生活を送るには、大勢のライバルに勝たなければならず、そのために人より何倍も努力しなければなりません。

「双减」を導入した背景には、子供たちの負担軽減や長期的に見た少子化対策、大学の入学定員を抑え職業教育校への進学率を高める政府の方向性等があります。子供の進路は大学進学だけでなく他の選択肢もあることに親の目を向けさせ、競争に勝つために多大な教育費とエネルギーをかけてしまう現在の状況の是正目的もあるようです。

中国版の「ゆとり教育」の「双减」が、今後どのような効果をもたらすのか、引き続き注目していきます。



## 上海の日本語教室「桜にほんご」

日本への留学を検討している学生、日本に興味のある人、仕事で日本語を使う人等が通っています。今回の規制でどうなるかは不明です。